

地形・地質

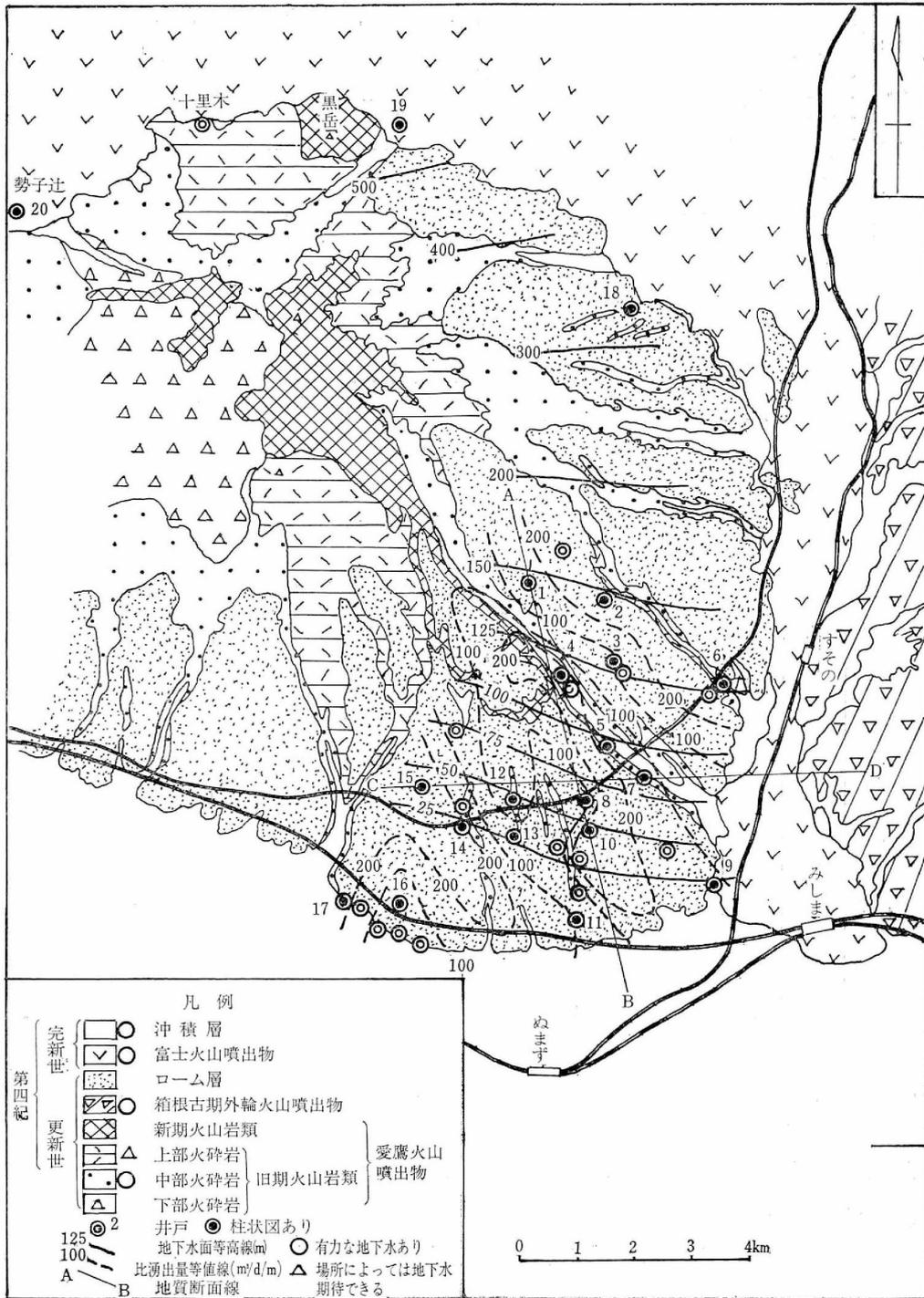
愛鷹山は富士山の南側に位置する第四紀の火山で、山体の中心は極端に北に偏して、南東方には広大な裾野が開けています。愛鷹山の基盤が第三紀中新世の御坂層と考えられ、玄武岩を噴出した旧期活動と安山岩を噴出した新时期活動に大別できます。

地下水

愛鷹山麓には小湧水が点在し、柿田川には大湧水があります。旧期火山岩類のうち、中部火砕岩が有力な帯水層を形成していて、上部火砕岩中にも場所によってはかなり有力な地下水が賦存されていることもあります。

愛鷹火山の水文地質層序表

地質時代	層 序	岩 相	地 下 水		
第 四 紀	完 新 世	沖 積 層	砂・礫, 粘土, 粘土, シルト	海浜平地では有力な地下水あり	
		富 士 火 山 噴 出 物	溶 岩	有力な地下水あり	
第 四 紀	更 新 世	ロ ー ム 層	ロ ー ム	地下水なし	
		箱根古期外輪火山噴出物	浮石, 凝灰角礫岩, 溶岩	有力な地下水あり	
		新 期 火 山 岩 類	溶 岩	地下水開発困難	
		上 部 火 砕 岩	愛鷹火山噴出物 旧期火山岩類	凝灰角礫岩・溶岩	場所によっては若干期待できる
		中 部 火 砕 岩		火山砂礫を主とし凝灰角礫岩を挟む	有力な地下水あり
下 部 火 砕 岩	集塊岩～凝灰角礫岩	地下水開発困難			



愛鷹山麓の水文地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記のWeb ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）